

昭和30年 5月3日



才86号

区政のお知らせ

足立区役所

発行
 足立区千住1/50
 東京都足立区役所
 北島十吉
 編集
 総務課総務係
 電話足立83代表 { 0151
 3111
 東京都足立区千住2/55
 株式会社 巧文社(織田)
 電話足立88 { 1165
 1166



△……一人のこらず投票しましょうと、足立区選挙管理委員会では去る四月二十二日と二十九日の両日、「必ず投票しましょう」と染めぬいた赤青、黄といろとりどりの風船をきぼう号に一杯積んで、走り寄る子供たちに風船を投げながら小雨の降るなかを一日中走り廻つて棄権防止につとめました。

△……今度行われた地方選挙の投票率は、都知事、都議会議員選挙が六二・九%、区議会議員選挙が六八・四%で、去る二月二十八日の衆議院議員選挙の六六・八%より区議の方はいくらか上廻りましたが、それでも二十六年の区議選の七九・三%に比べて、遙かに下廻つており好成績とはいえ、区選管では残念がつております。

写真 は 朝日新聞社 提供

地方選挙おわる

去る四月二十三日の都知事、都議会議員選挙及び三十日の区議会議員の両選挙は無事終了しました。都知事、都議会議員の選挙に比して足立区議会議員選挙率は四十四名の定員に対して百二十三名の立候補という激しい競争率で、選挙の終盤戦に入った二十八日二十九日頃は、各候補者の声も酒れ、その奮闘は涙ぐましいほどでしたが、二十三日の投票日と同じように、からりと晴れ上つた三十日の投票日には区民の出足が案外で、六八、四%の投票率でした。翌五月一日には早朝から開票が行われ、その結果次の方々が足立区議会議員として当選しました。

足立区議会議員当選者

1 無 所 属	神谷 豊信
2 無 所 属	藤田 健吉
3 日本社会党	丸岡光一郎
4 日本共産党	小林 政子
5 日本民主党	鈴木 銀三
6 日本社会党	鈴木 仲二
7 無 所 属	富沢 孝之
8 日本民主党	浜中 隼雄
9 日本民主党	遠峰 富次
10 日本民主党	清水 勝政
11 日本社会党	丹下 左膳
12 日本民主党	竹内 源七
13 日本民主党	藤来 二勇
14 無 所 属	永井 一己
15 日本民主党	大神田貞英
16 日本民主党	中条 幸男
17 日本民主党	日比谷竹次郎
18 日本民主党	矢萩二保三
19 無 所 属	並木 源太
20 日本民主党	大島 祐成
21 無 所 属	浦林 光春
22 日本民主党	遠藤虎次郎
23 無 所 属	大川 正一
24 無 所 属	幸野 正松
25 日本民主党	永田うめ志
26 無 所 属	佐野善次郎
27 無 所 属	桐谷 道雄
28 日本民主党	清水 宗忠
29 日本民主党	鴨下 林藏
30 日本民主党	石倉金次郎
31 日本民主党	白倉 滝藏
32 日本民主党	野沢 多藏
33 自 由 党	川下 松雄
34 日本民主党	浅古 幸藏
35 日本民主党	藤葉文次郎
36 無 所 属	佐野 寛
37 無 所 属	佐々木高則
38 日本民主党	佐々木和佐之助
39 日本社会党	高橋常三郎
40 日本民主党	中山 元一
41 日本民主党	荒井甚兵衛

都知事選挙開票結果(足立区)

有効投票 107,715票
無効投票 5,959票
投票総数 113,674票

得票	順	党派名	候補者名	得票数
1	無所属	安井誠一郎	57,577	
2	無所属	有田 八郎	46,689	
3	無所属	小田 俊与	1,600	
4	無所属	後藤 帰一	842	
5	無所属	須永伊之助	579	
6	無所属	貴島 桃隆	428	
計			107,715	

44 日本民主党 清水 丑政
43 日本民主党 木崎 太平
42 日本民主党 阿出川 信孝
1 日本社会党 加藤千太郎

5 日本民主党 鴨下 栄吉
4 日本民主党 モリムケン
3 日本民主党 大田 兵輔
2 日本民主党 鯨岡 雅二

都民体育大会派遣選手

壮行の夕べ



(写真は当日の会場入口)

憲法施行記念第九回都民体育大会に、足立区を代表して参加する派遣選手の激励と健闘を祈つて、足立区、区教委、区体育会

共催のもと、四月二十八日午後六時より産業振興館において派遣選手壮行会が挙行されました。当日は齋

陸上、海上、航空

自衛隊員募集

防衛庁では、今度全国で約八千名の自衛隊員を募集することになりましたが、当区内の志願者は次の要領により区役所総務課で志願手続をとつて下さい。

められる。海上、航空自衛官は特に定めない。

一、志願手続
志願案内を見た上で、区役所又は梅島支所に申込みこと。

一、応募資格 昭和五年七月二日生から昭和十二年七月一日生までの男子で、新制中学卒業程度の学力を有し心身健全な者

一、採用人員(全国)
陸上自衛官 約六〇〇〇名
海上自衛官 約一〇〇〇名
航空自衛官 約一〇〇〇名

一、待遇 被服、食事支給。営内(艦内)居住。

最初は二等陸士、二等海士又は二等空士として採用(月額六、〇〇〇円)するが順次昇進できる。

一、任用期間
陸上自衛官 二年又は三年
希望により継続勤務が認められる。

藤区長をはじめ、教育委員会代表、体育会長、来賓多数が集り、区長の壮行のことば、来賓の激励のことば記念品の贈呈、選手代表の謝辞があつて、第一部の式を終え、第二部でスポーツ映画、若しくは競

注意 志願案内、志願票は区役所総務課、梅島支所庶務課にあります。

う、五人の選手団、百万人のバレーボール、ヘルシンキへの道、疲労と能率、劇映画昨日と明日の間などの上映があつて盛会裏に会を閉ぢました。

第三回足立区

観光写真まつり

観光写真コンクール

区観光協会では、四月二十五日より、第三回足立区観光写真祭りを開催することになりました。これまでに行われた足立区観光写真コンクールは区内カメラ愛好家の多数優秀作品の応募があつて非常によい成績を取りましたが、今回もまた更に多くの秀れた作品の出品が期待されておりますなお写真祭りの行事として撮影会が五月十五日(第三日曜)に西新井大師境内(午前十時から十二時まで)および荒川放水路西新井橋下流(午後一時から三時まで)において行われます。

賞 知する)

推薦 一名 賞状(主催者より) 区長杯、副賞ベトリフレックス一台、リコウギヤシットバックA型ガン オリエンタル賞

特選 一名 賞状 観光協会長杯 副賞ワゴウフレックス一台 オリエンタル賞

準特選 二名 賞状 観光協会会長杯 副賞Aリコウフレックスガン付 一台 B チェスター三五 一台 各オリエンタル賞

入選 十五名 賞状 副賞一席から五席まで 電気露出計 六席から十五席まで スポーシフライインダー 各オリエンタル賞

各足立区写真材料商組合賞(一の電球)

佳作 三十名 賞状 副賞オリエンタル賞 足立区写真材料商組合賞(一の電球)

フラッシュの部 出品作品中フラッシュ撮影の作品に対し上位より第十位までに

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

賞

次の賞品を授与します
一位 理光ガン 一コ
二位 Aセット 一コ
三位 Bセット 一コ
四位より十位まで S F フラッシュ(一〇コ入)

応募上の注意
①応募作品は返却いたしません
②入選作品の版權は主催者に属します
③オリエンタルの製品を使用すること
④賞は入選以上一人一点に限ります

主催 足立区観光協会
後援 足立区役所
足立区写真材料商組合

才十二回成人学校

五月十一日より開設

屋間の勤務を終えた夕べの一時を有効に利用して、教養の向上、知識技能の修得をはかる第十二回足立区成人学校が来る五月十一日から開設されることになりその申込受付が四月二十五日から始まりましたが、時間割及び内容は次の通りです。

一、会場及び期日 足立区大谷田小学校(国電亀有駅・バス大谷田) 五月十一日(水)から六月十日(金)

月、水、金午後六時三十分

一八時三十分 開校式 五月十一日 午後六時三十分

一、科目及び内容

家庭料理 簡易料理

講師 東京栄養調理研究所長 岡田源吉

ペン習字 実用

講師 日本書道教育学会 総務 八谷栄治

写真の技術 手解き

講師 日本写真会監事 奥出 茂

騰写技術 実用技術

講師 孔版技術研究所 大谷 四郎

一、授業料 無料(但し科目によつて教材費要す)

一、修了証書 一定日数以上授講された方には修了証書を授与する。

養護学園入園式

第十五期生四十七名が入園



昭和二十五年開設以来着々その成果を挙げつつある区立上総養護学園第十五期生入園式が去る四月十八日午前十時より区議会議事堂で行われ四十七名の児童が入園しました。

黄、藍授の褒賞

足立区で三人

五月三日の憲法記念日に政府では、社会に貢献した民間人六十五人に紅授褒賞(一名)黄授褒賞(十二名)藍授褒賞(五十二名)を贈ることになり、足立区では次の三人の方が褒賞されることになりました。

○黄授褒賞 鈴木文郎(五六) 桜紙器工

業 足立区千住緑町一

○藍授褒賞

磯畑弘太郎(五八) スタンダード製靴 足立区本木町四の四四八八

須藤永次(七〇) 吉野石膏 足立区下沼田町四三一

なお黄授褒賞は永年業務に精励し人の範たる者に、藍授褒賞のうち右は、その工業部門に寄与する事大きかつた者に贈られるものです。

白い羽根

本年度の赤十字募金目標額は既報の通り、百四十九万八千円ですが、このほど各出張所分会毎の募金目標額が次の通り決定しました。前年度の赤十字募金は目標額を四十七万余円も上廻る好成績を取りましたが今年もまた区民の皆様への深い御理解と御協力によりそれに優る成績の挙げられるよう区募金委員会では望んでおります。

分会名	目標額(円)
第1出張所	82,610
第2出張所	82,300
第3出張所	148,380
第4出張所	107,850
第5出張所	123,100
第6出張所	65,100
第7出張所	130,960
第8出張所	81,770
第9出張所	91,790
第10出張所	92,050
第11出張所	79,980
第12出張所	82,200
第13出張所	51,770
第14出張所	8,630
第15出張所	16,950
第16出張所	33,800
第17出張所	26,860
第18出張所	117,330
第19出張所	7,4570
計	1,498,000

青少年保護育成運動

五月一日から一ヶ月間

五月一日から三十一日までの一ヶ月間にわたり、中央青少年問題協議会および東京都青少年問題協議会の主催で、第十一回青少年保護育成運動が展開されることになりました。その趣旨の主なるものは、

- (1) 覚せい剤の害悪を根絶する
- (2) 青少年に有害な出版物、映画などを排除する
- (3) 青少年の自覚と、家庭の責任自覚を高める

の三目標で、その達成をはかり、運動を推進するために足立区では、次のような行事を予定しております。

- 一、青少年に有害な出版物等の展示会 六月三日～五日 区議会議事堂 区立児童会館
- 二、青少年のための映画の会 五月十日
- 三、講演会（または親子協議会） 五月十五日

なお足立区青少年問題協議会と、足立区モデル地区委員会との共催で、区では四月中に次のような行事を催し、青少年の保護育成と、それに対する社会環境の啓蒙につとめまし

た。

四月八日午後五時から本木小学校において今年中学校を卒業し、実社会に又は上級学校に進学する者の門出を祝福し且つ激励する意味で足立区モデル地区中学校卒業生激励講演と映画会が催されました。当日は六中、七中の昭和二十九年卒業生のうち約二百名ほどが集り、「青少年のあり方」の演題で、新宿生活館長塚本哲氏の講演があり、映画文化ニエース、山河遙かなり働きながら学ぶ人々の上映があつて会を終えました。

次いで四月十二日午後一時より本木小学校において青少年の健全な育成と保護について地元民の関心と理解を深め協力を得るための青少年を守る講演と映画の会があり、同じく塚本哲氏より、「家庭の窓を開けましょう」の講演があり、映画、教室の子供たち、わんぱく日記、若い世代が上映され閉会しました。

第三回目の行事として、四月十五日午後一時より区立六中において、モデル地区管内の六中、七中の生徒代表二、三人

関原本木両小学校の学童代表十三人、父兄代表三十人、各校の教師代表十人および委員全員、講師の塚本哲氏など約百人が出席して親子協議会が開催されました。議題は

- 1 生徒児童は父兄に對しなにを望むか
- 2 生徒児童は社会に對しなにを望むか
- 3 父兄は子供になにを望むか
- 4 社会の人々は子供になにを願うか
- 5 青少年はどうあるべきか

街をきれいに美しく

首都美化運動

東京都では、昨年度「まちをきれいにする運動」を実施し都民各層の協力によつて相当な成績を収めることができたので、今年もこの運動を継続し、一層の創意工夫と、それを裏付けする実践を強力に押し進め、世界に誇り得る清潔で美しい街を築き上げようと都民の皆様によびかけることになりました。

明るく住みよい街は我等の手で！今年もこのような気構えで足立区でも区民の皆様の一入一人の御協力と御支援を望んでおります。

○街路、公園、運動場、集会場、駅、車内等を紙屑やた

などで、各項目について親子の側から活潑な発言があり大きな成果を収めて閉会しました。当日出された意見の主なものは次の通りです。

子の親に對する希望

今の映画は大人の映画だから子供のための映画を作つて貰いたい。遊ぶ場所がないから公園や子供野球場が欲しい。副読本や学用品の買えない友だちを大人たちは何とかしてやつて欲しい校外指導で交通整理をやつ

ていると平気で大人は左を歩く、家庭の中心たる母親が外で買物かごを下げてパチンコをしているがあれは止めてもらいたい。長欠している友だちのなかには子供のお守りやお使いをさせられている人もいるが、もつと義務教育に對して責任を持つてもらいたい。

親の子に對する希望

孝行を強いるのではないが親からからだをさずかつたのだという点を考え、もつ

と親孝行する心掛けが欲しい、母親は新しい時代を子供から学ばうとしているのだから、どんなことでも親に納得のゆくように話してくれ、これから暖かくなるとドロボウごつこや探偵遊びなど夜遊びが多くなるが、友達同志で止めるように、親に物を買つてくれとせがむな、親は生活のため一生けん命働いている、もつと勉強しろ、区の巡回図書などももつと利用するように力する。

○観光地や商店街の美化に協力する。

○川やみぞや空地に物を捨てない。

○公衆便所を不潔にしない。

○へい、電柱、ガード下、橋のランカン等にビラをはらない。

○らく書をしない。

○醜い広告をやめる。

○空中や高所から広告ビラをまかない。

○ばい煙を出さないように注意する。

○住居や建物の周囲を清掃する。

今年ハシカの流行年 早目に予防注射を

今年になつてからハシカの患者数が次第に増加していますが、毎年五月頃にその最高に達するので、その予防に注意いたしましょう。

ハシカは誰でも一度はかかるものとして予防に無関心な人が多いようですが、ハシカによる死亡数も相当に上り、殊に乳幼児は危険率が高く、二才未満児の死亡は八割を占めています。

○予防について

流行期には乳幼児をハシカのスんでいない子供に近づけないようにし、また人混みの中にはできるだけ連れていかないうようにすること、まだハシカをやつていない子供や乳児は、今年かかる心配がありますから、早目に予防注射を受けておくことが必要です。